

【令和4年度 事業報告 重点項目】

1. 養育・自立支援

2022年度 計画	<p>①職員間で共通認識を持てる養育の研修（CARE）の実施と養育ハンドブックへの反映・活用。 達成指標：第三者評価項目（6-6-1-3）「日常的に手引書を活用」：59.2%（2021年） ⇒65%</p> <p>②児童自立支援計画書の子どもへのフィードバック方法の検討。 達成指標：フィードバック方法を養育ハンドブックに反映する。</p> <p>③児童自立支援計画書策定会議への担当心理士の参加。 達成指標：心理士が参加できたか、もしくは心理士と生活担当職員とで合意された計画か。</p>
報告	<p>①CARE研修を開催し、まだ受講していない職員と、再度受講希望する職員が参加し、施設内の養育に対する共通認識を持てるようにした。 ・養育ハンドブックを全グループに配布することに加え、それに紐づいたOJTシートを活用することで、日常的にハンドブックを用いることができるよう工夫した。 ⇒達成：目標 65% / 実際 72.7%（前年度より 13.5%上昇）</p> <p>②プロジェクトの中で自立支援計画書のフォーマットのあり方、及び子どもの意向の反映を検討し、2023年度より新たなフォーマットを活用する準備が整った。子どもの意向をくみ取り、支援者と合意形成をし、子どもと共有できる自立支援計画書（応援プラン）も新たに導入することにした。 ⇒達成：子どもへのフィードバック方法のみならず、一緒に共有できる自立支援計画書（応援プラン）も導入することができたため。</p> <p>③自立支援策定会議への心理士が参加し、合意のもとに計画された。 ⇒達成：参加可能な心理士が策定会議に参加することができた。また、参加できない場合も心理士が事前に取り組み計画案を示し、現場職員との合意形成を図ることができた。</p>

2. 人材確保

2022年度 計画	<p>①効果的なSNS利用と人材確保ページ（ホームページ上）の運用。 達成指標：2023年度に確保が必要な人数の2倍のエントリー数を達成。</p>
報告	<p>①主にInstagramとウェブサイト内の人材確保ページで配信を行い、必要な人材を確保することができた。 ⇒達成：目標 26名のエントリー / 実際 39名のエントリー</p>



3. 人材育成

2022年度 計画	<p>①おたすけ隊制度、サポーター制度、管理職による管理体制、それぞれの機能の充実と連動。</p> <p><u>達成指標</u>：それぞれの機能や役割、業務内容等が見える化した上で、第三者評価項目（5-1-4-3②）「職員の働きがいの向上」：67.3%（2021年）⇒72.3%</p>
報告	<p>①人材育成のためのそれぞれの制度が見える化し、年度初めに全職員に説明を行った。</p> <p>⇒<u>達成</u>：目標 72.3% / 実際 81.8%（前年度より 14.5%上昇）</p>

4. 運営管理（事業継続・修繕・その他）

2022年度 計画	<p><事業継続></p> <p>①BCPに基づいた避難訓練の実施（洪水）。</p> <p><u>達成指標</u>：実施した上で、第三者評価項目（4-1-1-4②）「リスクへの対策や計画を理解し、役割に応じた対応ができる」：75.5%（2021年）⇒80%</p> <p><修繕></p> <p>①令和4年度：奥戸ホーム：外壁塗装（予算：240万円）</p> <p><特記事項></p> <p>①全ての子どものアレルギー検査の実施：新入所の子どもは全員、入所中の子どもは何年度かに分けて検査の実施とするが、アレルギー症状のある子どもを優先とする。</p> <p>②車両入替：令和3年度より車両の入替計画が進行中。令和4年度は本園車両1台（車両ナンバー：25-25）と奥戸ホーム車両1台（車両ナンバー：37-41）の入替を予定。</p> <p>③職員の増配置による影響と業務の効率化を図るため、5ヶ所のグループホームに職員用パソコンをそれぞれ1台ずつ増設予定（合計5台）。</p> <p><その他の運営管理></p> <p>①管理職の役割を更に明文化するとともに、組織図の見直し・整理する。</p> <p><u>達成指標</u>：組織図を整理した上で、実態に合わせた改訂を行う。</p> <p>②フォスタリング機関事業を中心とした地域支援の事業化に向けた取り組み。</p> <p><u>達成指標</u>：フォスタリング会議の定期開催に加え、親子向けに新たな地域支援プログラムを展開（2022年度累計100組の親子の参加を目標とする）。</p>
報告	<p><事業継続></p> <p>①洪水や深夜帯を想定した訓練等を行うことができ、参加者への理解促進につながった。一方で、訓練等に不参加だった職員への理解促進の取組みが不十分であった。</p> <p>⇒<u>未達成</u>：目標 80% / 実際 69.1%（前年度より 6.4%減少）</p> <p><修繕></p> <p>①奥戸ホームの外壁塗装を行うことができた。</p>



⇒達成：奥戸ホームの外壁塗装を予定通り完了。

<特記事項>

①新入所の子どものアレルギー検査を実施。

⇒達成：新入所の子どもは全員アレルギー検査を実施することができた。アレルギー症状のある子どもの一部についてもアレルギー検査を実施した。

②予定通り、奥戸ホームと本園の車両の入替を行い、全グループの車両が7~8人乗りの車両とすることができた。

⇒達成：奥戸ホームと本園の車両の入替が完了。

③職員からの要望により、各グループホームの職員用パソコンを増配置した。また、健康増進の取組としてPC関連用品（PCスタンド等）も準備した。

⇒達成：PCの増配置が完了。

<その他の運営管理>

①管理職それぞれの業務内容を文書化すると共に、組織図も抜本的に見直しを行い、サポーターとグループを管理監督する直属の上司（管理職）の役割をわけ、説明する場も作った。

⇒達成：実態に応じた組織図の見直しを行った。

②フォスタリング事業の受託については主に人員の問題で手を挙げられなかったが、地域の親子さん向けに「ふれあいサロンきぼう」と名付けた居場所を用意し、定期的にプログラム提供を行うことができた（親子リフレクソロジー、親子ヨガ、親子音楽遊び）。

⇒達成：目標 100 組 / 実際 127 組

